



第467号 2013年1月1日

編集・発行

アカシア会

連絡先 アカシア会事務局

〒734-0005 広島市南区翠1-1-1
 広大附高内アカシア会館
 TEL & FAX 082-253-5581

次回は 通算 550回 例会

会長挨拶

皆様 新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願っています。

この原稿依頼があります1週間前にサンフレッチェが20年ぶりの優勝をしました。思い起こせば2007年にはJ2に降格し2008年にJ1復帰、あれから5年で優勝、夢の様な出来事で元気をいただきました。本年はぜひとも広島カープに頑張っていたきたいと思っております。

さて 石井泰行前会長からお引き受けて一年半が経ちました。会長就任時に、今後は常任幹事と学年幹事を充実させて皆様方のご意見を聞きながら運営していきたいと申しました。常任

幹事会では、昨年14名の新しい常任幹事に就任していただきました。今後は各地域アカシア会からも常任幹事の選出をいただき、全国の皆様方のご意見を参考にして事業を進めていきたいと思っております。学年幹事会については、卒業以来変わっていないため連絡が取れなくなったりお世話していただけなくなったりしている学年幹事の見直しを含め、もっとアカシア会運営に積極的に関わっていただけるような体制を考えてまいります。

2015年の110周年を目指して、この一月には準備委員会を立ち上げる予定です。この歴史と伝統のあるアカシア会を良い形で若い世代に引き継げる様



に努力してまいりますのでご理解をいただきご協力のほど宜しくお願いいたします。

今年が皆様にとりまして良い年になることを心より祈念して挨拶に代させていただきます。

アカシア会会長 向井恒雄(50回)



平成24年10月22日常任幹事会(関連記事2頁)

広島アカシア会 1月例会(550回)のご案内
 ~新年互礼会~

日時:平成25年1月17日(木)午後6時30分
 場所:アンデルセン(本通)

「新春によせるバイオリンミニライブ」

ヴァイオリニスト 天野 恵氏(95回)

9月5日にコロムビアレコードから「PafeOke」という弦楽ユニットでCDデビューさせていただきました、東京で様々な音楽活動をしています。今回ミニライブをさせていただきますとなりました。お楽しみいただければ幸いです。

2月例会:2月18日(月)午後6時30分
 ※18日に変更となりますので、ご注意ください。

場所:アンデルセン(本通)
 卓話講師:九州大学准教授 谷 正和氏(66回)

3月例会:3月18日(月)午後6時30分
 ※18日に変更となりますので、ご注意ください。

場所:アンデルセン(本通)
 卓話講師:中国運輸局企画観光部長 金子 修久氏(79回)

広島アカシア会の懇親会費は4,000円(81回以降の卒業生3,000円)アカシア会員なら参加自由。お気軽に直接会場にお越し下さい。

2013年版
 アカシア会会員名簿

好評販売中! 1冊 3,600円

2012年10月に発行したベージュ色の表紙の名簿です。
 お求めは同封の払込票で下記口座へご送金ください。
 ☎01300-4-13111「アカシア会」



Contents

会長挨拶、月例会案内…………… 1	岡山アカシア会、九州アカシア会… 9
地域代表者懇談会、常任幹事会報告、 運営会費納入のお願い…………… 2	呉アカシア会、元教官の会……………10
アカシア夜話 小山 清氏(旧教官)… 3	職域・クラブだより……………11
アカシア探検隊 出原賢治氏(67回)… 4	同期会だより……………12
友誼の御園…………… 6	会員名簿広告主一覧……………14
いろいろアカシア情報、 各地域のご案内、東京アカシア会… 7	出てもろうてもえんかいのお、ピバ アカシアカップル、アカシアライブラ リー、事務局だより、計報……………15
近畿アカシア会、東海アカシア会… 8	12月例会レポート、会報編集委員会…16

第5回地域アカシア会代表者懇談会

平成24年7月17日(火)広島アンデルセンで開催された。

向井恒雄アカシア会会長(50回)の開会挨拶、議事録作成者と認証者の指名、出席者紹介に続き、地域アカシア相互の意見交換では、110周年記念式典、全国アカシア会の運営会費の納入、地域アカシア会との連携について議論された。

次に各アカシア会から以下の通り運営状況が報告された。

全国アカシア会：会員の住所データ更新の協力について要請、ホームページのサーバー変更し利便性が向上した。

岡山アカシア会：懇親会費は男性6,000円、女性4,000円、大本会長の大きな支援がある。

近畿アカシア会：総会には出席者が減少傾向、若い世代が増加、年会費2,000円。

東京アカシア会：若い世代が運営に積極的に参加、同窓会に社会的価値を付加する工夫をしている。年会費3,000円。

東海アカシア会：懇親会は年2回、30名程度の参加に対し、無料招待の学生が増加、年会費の徴収も検討する。

九州アカシア会：アトピーに効果的な発見された佐賀大学・出原賢治氏(67回)の紹介、年会費は無料、会報の広告収入で賄う。

呉アカシア会：竹原・江田島を含め案内、懇親会に40名程度参加。会費3,000円。

広島アカシア会：月例懇談会開催と会報発行が主な活動、参加者増加を図るための工夫をしている。

最後に大方幸三幹事長(46回)より2015年の110周年記念行事は、母校、同窓生、社会への貢献を目的とするとの抱負を述べられ、開催について協力を要請され、閉会の挨拶とされた。

出席者(敬称略)：アカシア会 会長 向井恒雄(50回)、副会長 的川泰宣(50回)、同 堀内重明(50回)、同 吉中康磨(50回)、幹事長 大方幸三(46回)、事務局 甲斐 稔(63回)、常任幹事 井藤壯太郎(50回)、同 中本泰弘(65回)、同 先本賢司(71回)、東京アカシア会 会長 的川泰宣(50回)、副会長 大澤郁枝(52回)、近畿アカシア会 会長 堀内重明(50回)、東海アカシア会 会長 沖 信一(55回)、事務局 佐藤哲郎(78回)、岡山アカシア会 常任幹事 横手靖吾(54回)、九州アカシア会 事務局 伊藤 哲生(51回)、呉アカシア会 副会長 堀川重幸(47回)、同 奥村誠哉(49回)、広島アカシア会 会長 吉中康磨(50回)、幹事長 白井孝司(59回)

常任幹事会報告



平成24年10月22日、母校会議室で開催された。向井恒雄会長(50回)の開会挨拶に続き、役員・常任幹事の変更を受け、全員の自己紹介から始まり次の議事について協議した。

- ① 今後は常任幹事会を年2回以上開催、中途はメール等で意見交換等を行う。
- ② 名簿、会報、財務を常任幹事会と密接に関連させ、110周年記念事業と連携。
- ③ 会報月例版今後も毎月発行、全国版は広報を目的とした最適化を検討する。
- ④ 名簿は広告の収入と住所のメンテナンスが会の運営に重要な要素であることから、年1回の発行を継続する。
- ⑤ 運営会費を納付いただくよう会員に地道に働きかける。
- ⑥ 母校に対して、当会員が講演をする等貢献する。
- ⑦ 学年幹事機能を充実させたい。
- ⑧ 110周年記念事業の準備委員会を来年1月に発足する。社会貢献を目的に一般市民向けのイベントを企画、検討したい。

事業計画進捗状況の報告の後、大方幸三幹事長(46回)の閉会の辞で終了した。

アカシア会役員

役名	卒業回	氏名	摘要	役名	卒業回	氏名	摘要
名誉会長	43	石井 泰行		常任幹事	55	樋渡美和子	(名簿)
相談役		古賀 一博	(学校長)	〃	57	木本 薫	
顧問	33	長沼 博		〃	57	天島 純子	
〃	35	大森 茂夫		〃	58	熊野 義夫	
〃	41	新井俊一郎		〃	59	田島 正敏	
〃	43	児玉 幸治		〃	60	武井 康年	
〃	43	島 一秀		〃	62	江川 恵司	
〃	43	米澤 啓明		〃	62	本田 和哉	
〃	43	後藤 吟子		〃	63	原山 秀明	
〃	46	松尾 康二		〃	65	中本 泰弘	(会報)
〃	73	河野 俊嗣		〃	66	三原 千恵	
〃	75	湯崎 英彦		〃	67	木坂 俊治	
会長	50	向井 恒雄		〃	69	榎本 良二	
副会長	50	的川 泰宣	(東京)	〃	70	細 秀樹	(会計)
〃	50	堀内 重明	(近畿)	〃	70	熊野 留美子	(会計)
〃	50	吉中 康磨	(広島)	〃	71	迫井 正深	(東京)
幹事長	46	大方 幸三		〃	71	前 泰弘	
副幹事長	59	白井 孝司		〃	72	砂古 伸二	
事務局 長	63	甲斐 稔		〃	73	西原 利典	
事務局 次長	71	先本 賢司		〃	73	谷口 公啓	
常任幹事	40	山口 康明		〃	74	手島 由裕	
〃	44	加藤 義明		〃	74	鈴木 隆子	
〃	45	佐古 雅則		〃	75	井坂 雄幸	
〃	48	中田 研一		〃	75	花園 泰憲	
〃	49	川瀬 博之		〃	75	杉山 亮一	
〃	50	井藤 壯太郎		〃	76	大下 洋嗣	
〃	50	小川 玲子		〃	77	佐々木 順一	
〃	51	鼻岡 甫訓		〃	78	山田 智子	
〃	52	榎 並 毅		〃	79	森川 真吾	
〃	52	前川 功一		〃	80	加用 雅信	
〃	53	和泉 真		監事	46	高橋 正光	
〃	54	田中 保昭		〃	51	寒川 起佳	
〃	55	福田 眞	(東京)	事務局	74	大田 陽子	
〃	55	増田 彰		〃	79	吉野 かおり	

運営会費納入のお願い

アカシア会の健全、永続的な運営の為に、72回以前の卒業生全員に一万円の運営会費をお願いしています。まだ、納入頂いていない方は、振込票を同封していますので、是非とも会費1万円を最寄りのゆうちょ銀行よりお振り込み下さい。

安定した運営体制を次世代に引き継いで行く為にも、同学年やお知り合いの方に、お声をお掛けいただくようお願いいたします。

卒業回別納入者数(2012年11月30日現在)
対象会員数5698人・納入者数2930人・納入率51.4%

卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入
17回	1		32回	21	9	47回	165	104	62回	174	79
18回	2		33回	23	13	48回	167	148	63回	171	79
19回	3	1	34回	29	10	49回	160	104	64回	175	55
20回	1		35回	32	14	50回	174	101	65回	180	85
21回	1		36回	40	8	51回	162	139	66回	184	93
22回	2		37回	29	13	52回	169	100	67回	182	83
23回	4		38回	69	25	53回	186	80	68回	170	84
24回	5	1	39回	53	14	54回	176	83	69回	179	75
25回	4	1	40回	78	31	55回	184	86	70回	182	94
26回	6		41回	78	35	56回	175	82	71回	159	94
27回	6	1	42回	76	23	57回	173	81	72回	176	109
28回	7	3	43回	158	121	58回	165	78	合計	5698	2930
29回	18	7	44回	159	95	59回	183	91			
30回	8		45回	121	72	60回	175	77			
31回	15	2	46回	117	69	61回	186	78			

学年ごとの納入状況をお知りになりたい方は事務局までお申しつけください。

アカシア夜話 アカシアンナイト 第9話 (創立100年史作成の裏話…長谷川乙彦像)

2005年4月17日、母校は創立100年を迎え、盛大な記念式典が開催されました。アカシア会は式典に協力するとともに、盛大な祝賀会を実施し、また、各種記念事業を行い、会員の寄付をもって母校講堂の改修をしました。

この時に発行された創立100年史は、母校の歴史をくまなく記録したかけがえのないもので、編集に当たられた小山清先生のご尽力の賜物と言って、過言ではありません。

今回、小山先生に記念誌に書けなかった裏話をお聞きし、その一端をご披露します。

創立80年史と100年史

儂(わし)は、つごう32年間附属に奉職したんよ。元教官の中には、儂より長く務められた先生もよおけえ居ってじゃし、偉い先生方もずいぶんおられたが、100年史の執筆に当たったという事は、他の先生方に比しても、誇れる事じゃと思う。ほいじゃが、記念誌の編集という仕事に関しては、80年史のほうがはるかに大変じゃった。

戦後のことは記録も残るとるし、大体分かるんじゃが、戦前のことは、OBを訪ねたり、資料の寄付を頼んだりして、全く様子の分からんかったものを、時間をかけて徐々に形作っていったんじゃ。そうやって基礎ができておったから、100年史は比較的楽にできた。

とは言うても、寄稿文とデータを載せた別巻を除いて、上下巻合わせて1,484ページじゃから、来る日も来る日も原稿を書いとった。

長谷川乙彦初代主事

附属初代の主事(校長)は、既に広島高等師範学校教授として着任していた長谷川乙彦先生じゃが、第1回の入学式の時に、4条から

- 一 生徒訓條
- 一 規律ヲ守リ禮儀ヲ正シクスヘシ
- 一 師長ヲ尊敬シ命令ニ服従スヘシ
- 一 誠實を旨トシ言行ニ表裏アルヘカラス
- 一 勤勞を重シ時間ヲ空シクスヘカラス

なる「生徒訓條」を示された。当時、ほとんどの中学校が「質実剛健」を言い、旧制高校生の弊衣破帽をまねた生徒が溢れておった。これに対し、附属で示された「規律を守り礼儀を正しくすべし」から始まる生徒訓條は、他の中学校と一線を画したものであった。弊衣破帽の中学生たちが、ややもすれば粗暴放漫に流れ、また、大言壮語に走るのを戒め、秩序や礼儀を重んじる、当時としては異色のものじゃった。

世間は、きちんとしている附中の生徒を見て、お坊ちゃん学校ともうわさしたが、英国紳士的な紳士の養成を目指した結果であり、その後の歴史を見れば、先見の明があったという事になろう。

こういう事が、今も続く附属の、他校にはない特徴の一つとなっておる。

主事の胸像

母校は、大正4年(1915年)の創立10周年から昭和10年(1935年)の30周年まで、5年ごとに記念式典を開いておった。昭和5年(1930年)の創立25年式典で、初代主事の長谷川乙彦先生に胸像を贈るとるんよ。2体作って、1体を学校に置き、もう1体を贈呈しとるんじゃ。学校にあった1体は、原爆で焼けてしもうたんじゃが、長谷川先生に贈られたのが、今、講堂の入り口に設置されとる胸像なんじゃ。

80年史の調査で、長谷川先生の娘さんの家を訪ねたんよ。長谷川先生の長男の輝彦さん(12回)は既に亡くなり、輝彦さんと同期の森本義雄さんに嫁がれた長女の須磨子さん(豊華会17回)のところに、訪ねて行ったんじゃ。表向きは資料を探してという事じゃったが、内心、25周年で贈られた胸像が無いものかと思おとった。東京の世田谷にあった家を訪ねて話をしたが、資料は僅かしか残っとらんかった。



小山清先生 平成24年10月13日

200メートル先に兄の家があるという事で、輝彦さんの奥さんを訪ねてみたんじゃ。

資料は処分され、ほとんど無かったんじゃが、胸像は物置小屋の中に有ったんよ。奥さんは、「持って帰りますか?」と言われたんじゃが、儂はここで大失敗をしたんじゃ。まだ宅配便も普及してなかった時代、その場で持って帰るんは大変じゃ思うて、「後日…」と言うてしもうた。後日、お願いすると、当時弁護士目指して修行中だった孫の直彦さんに相談してみるという事で、話が途切れてしもうた。

それから20年経って、今度は対価についても言われれば出す気で、胸像をもらいに訪ねたら、孫の直彦さんは成人して、一人前の弁護士になっておられたんじゃ。今度は「寄贈します」と言われ、「ちょうど、岩国に行く仕事があるので、学校まで持参します」と。

この胸像が、創立100周年の記念式典で披露され、アカシア会員の寄付で整備された、講堂の入り口に設置されている

P r o f i l e

昭和13年2月14日岡山市生まれ、20年7月新見市へ疎開、36年3月広島大学教育学部卒業、38年3月大学院修士課程修了、同年4月広島県立呉三津田高校、41年4月から平成10年3月まで広大附属・高等学校教官

「長谷川乙彦像」なんよ。

それから、長谷川乙彦先生のお宅は、主事を退任された時に、教え子や父兄が集めた饞別で、土地と屋敷を購入されたということじゃった。旧制中学の時代は、全国で三校しかない国立中学(広島高師附属中学校と、東京高師附属中学校、学習院中等科)という事で、卒業生のプライドも相当高かったんじゃが、同時に、プライドの基になる恩師に対する感謝の念が、当時は相当に高かったんじゃと思う。



雑感

プライドと感謝という事を話の中でしたが、これは今でも大切な事じゃと思うんよ。旧制の時代とは違うが、(63回の)あんたらも、当時は広島で一番の学校という、良い意味でのプライドがあったんじゃ。その頃は、先生たちにもそういうプライドがあった。附属の先生になるのは、本当に名誉なことで、一生を捧げる気で赴任したんじゃ。父兄もやはり、プライドを持っておられたよ。

附属が昔のように、1番と言われる学校になるには、先生がそういうプライドを持った集団になることが、大事な事なんじゃないかと思うとる。もちろん、父兄の方々もじゃ。大人である先生と父兄が高いプライドを持って教育にあたれば、子供たちは必然的にそうなるんじゃないかの…。

編集にあたって

あと2年余りで創立110周年を迎える今日、100年史を編纂された小山先生なら、裏話が相当あるに違いない…と、取材を申し込みました。私たちは、中3の時に小山先生の授業を受けており、昔話が弾んで、裏話のほんの一部しか聞く事ができませんでした。

思えば、先生とはクラスの男子全員で、先生の授業をさぼってサッカーをし、T君と私(甲斐)が空中衝突して、入院と流血の事故を起こして以来の腐れ縁? 「今ならあの事故で、儂はクビじゃったかもしれん。」と先生は言われますが、まだまだ裏話をお聞きしますので、これからもよろしくお願ひいたします。

文責・編集：甲斐 稔(63回)
編集補：河本良子(63回)

アカシア探険隊
 MI・2013 (冬)
 ~佐賀大学医学部
 分子生命科学研究室潜入の巻~

67回 出原 賢治氏
 ~佐賀大学医学部
 教授・医学博士~



=アカシア会館内 司令室にて=

乙：先輩、またもコンビ復活ですが、今回はどがいな分野ですか？

甲：ふふ、医学・生理学分野よ。

乙：え〜！苦手な分野じゃ。勘弁してつかあさい。

甲：ほ〜、エエんか？前に子供がアトピーじゃ言うたらんかったか？

乙：は？どういう事ですか？

甲：つまりの、最近アカシアメンバーの一人がアトピー性皮膚炎に関して画期的な研究成果を上げたんよ。これに関するセミナーがあるけん、そこへ行って取材して、「みんなに解かりやすうに紹介する記事を書け」いうんが今回の指令よ。お前の子供の為にもなるじゃろうが。

乙：ウチんちのコは、もうほとんど治つとるんじゃけど、...

甲：ほ〜。自分のトコさえエかったら、それでエエんか。お前はそういう奴か？セミナー開催場所は福岡でえ。

乙：あ！行きます、行きます。(帰りに八天堂のクリームパンが買える！) セミナーで解からん所があったらフォローお願いしますね。

甲：セミナーは一人で行け。ワシは九州アカシア会のメンバーと会議があるけん。

乙：またそれかいや。



と云うことで、今回は67回卒の出原賢治(いずはらけんじ)さんの登場です。出原さんは九州大学医学部のご卒業。卒業後は米国留学などを含め、様々な研究所で多くの成果を挙げられ、今回アトピー性皮膚炎に関する画期的な発見をされました。

セミナーだけではよ〜解からんかったので、今回は特別に、直接お話しを伺う機会を設けて頂きました。



乙：本日は大変にお忙しいところ、お時間をいただき有難うございます。

出：いえいえ。アカシアメンバーに会えて嬉しいです。こうしてお話し出来るのを楽しみにしていましたよ。

乙：ありがとうございます。今回の発見についてなんですけど、アトピー性皮膚炎の「発症メカニズムの発見」ではなく、「慢性化メカニズム」の発見という事ですね？

出：その通りです。「アトピー性皮膚炎」は皮膚の遺伝的な障害と、アレルゲンが体内に侵入して引き起こすアレルギー性皮膚炎とが組み合わさって生じると考えられています。しかし、一度発症すると、外的要因を遮断しても症状が慢性化してしまう事が多くあり、生涯続く場合もあります。その「慢性化するメカニズム」を今回発見できたのです。

乙：つまり、一度発症すると一次的な原因を取り除いても「悪循環」が始まる事が多く、その負の循環についてのメカニズムを発見されたと言う事ですか？

出：そうです。外的なアレルゲンの刺激に関係なく体内で炎症が続く仕組みがある事を今回発見できたのです。

乙：ということは、世界中の患者にとって大きな福音ですね。

出：いえ、現段階ではそうとは言えません。「慢性化のメカニズム」が解っただけでは患者さんの救いにはなりません。今回の発見で「慢性化という悪循環」を断ち切る具体的アイデアが得られたわけですが、それを実現する新薬が開発されて初めて患者さんの笑顔を見られる事になりま



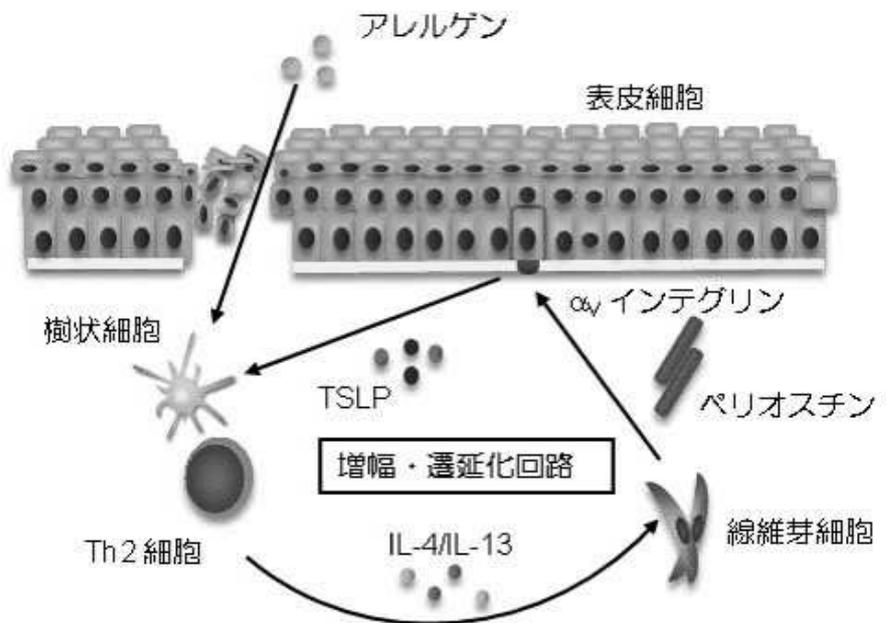
P r o f i l e

昭和33年10月15日広島市安佐南区長束生まれ、46年長束小学校卒業、49年広島大学附属中学校卒業、52年広島大学附属高等学校卒業、59年九州大学医学部卒業、九州大学第一内科を経て平成3年より米国DNAX分子生物学研究所に留学。国立遺伝学研究所、九州大学を経て平成12年より佐賀大学医学部分子生命科学講座教授。順天堂大学客員教授、京都大学、九州大学、熊本大学、筑波大学非常勤講師を歴任。

す。これからが重要なのです。

乙：とはいえ、今回の発見だけでも希望を持たれた方は多いでしょうね。

出：はい。今回の発見を発表後、世界中の方々からお手紙・メールを頂きました。皆さん本当に苦しんでおられます。重度の方、特に顔面など露出の多い部分に発症されている方のお悩みは深刻です。大きなコンプレックスを感じて「引きこもり」になり自殺を考えていたが大きな光明を感じて生きる力を得ることが出来





た、とのメッセージを頂いたときには、心からの喜びを感じると同時に今後への責任を痛感しました。一日も早く新薬を開発して患者さんに届ける責任を強く感じています。

乙：なるほど。今後の研究活動にますます期待したいと思いますが、素朴な疑問として、そもそも何故「アトピー」がここまで深刻になってきたのでしょうか？

出：そうですね。やはり「時代」ではないでしょうか？生活環境がキレイになり過ぎたのかもしれませんが、幼少の頃に免疫的な訓練を行う環境が失われているのかも知れません。ある意味「先進国病」・「文明病」かもしれませんね。

乙：話は変わりますが、附属時代はどのような学生生活でしたか？

出：まあ、普通の生徒だったと思いますよ。ごく平均的な。

乙：医師は早くから目指されていたのですか？

出：う～ん、どうですかね。高校生らしく進路にはそれなりに悩んだ記憶があります。その中で大きな影響を受けたのが「赤頭巾ちゃん気をつけ

て」という庄司薫の小説です。「みんなを幸せにするにはどうしたらいいのか」という、当時でも青臭くて気恥ずかしいことを臆面もなく考える主人公が私にはとても格好良く感じられました。将来「どうやって人の役に立つか、社会に貢献するか」を考えた時、当時の私には医師という仕事が最も分かりやすかったんでしょうね。

乙：その他、附属時代の印象的な事はございませんか？

出：そうですね。たくさんありすぎて、、、。今から思えば大学のような高校だったと思います。やりたいことがあれば何でもやらせてくれるけど、その代わり責任は生徒自身が持たなければならぬような雰囲気も充溢していました。「生徒自身が考え、実践する事」を非常に尊重してくれる学校だったと思います。「何でもやってみよう。やらせてみよう。」という非常に前向きな学校だったと思います。学校行事でもクラブ活動でも。授業でさえ生徒が望めば、生徒自身がテーマを決めて討議させてくれていました。例えば世界史の授業などがそうでした。

体育祭や文化祭なども同じで、高



Iの時は上級生の見習いみたいな感じでしたが、高II・高IIIと進むにつれて前年を上回る創造力を発揮しようと頑張りました。先生方や卒業生の方々から「なんやあ、今年はずまらないのう。」なんて言われなくなかったですからね。

乙：その「創造力発揮」が今でも活かされているんですね。

出：私の場合がどうかは別にして、一般的にはそれが大きな力になると思います。しかしそれには絶対に「行動力」・「実践力」が伴っていないとダメですね。どんな分野でも「想像力」・「創造力」は必要ですが、結局はそれらを元にした「実行力」だと思えます。いくら頭で考えてもそれを目に見える形にするパワーが無いと。

乙：アカシアのメンバーに対するメッセージをお願いしますか。

出：高校卒業後、ずっと広島を離れています。アカシアのメンバーは全国におられ、当地(九州)にもたくさんおられます。その方々には大変お世話になっています。広島を離れていてもアカシアの大きな「絆」を感じています。本当にありがたい事です。今後ともお世話になるとは思いますが宜しくお願ひいたします。

乙：現役生徒諸君へのメッセージをお願いします。

出：私が卒業したのは35年以上も前の事です。当時とは時代背景も環境も全く違いますが、アカシア(附属)に流れる本質的なスピリットは不変だと思います。附属生としての良い意味でのプライド・矜持を持ち、将来は日本・世界の為に貢献できる人材となるよう日々の学校生活を悔いなく、そして楽しく送ってください。

乙：本日はお忙しいところ、有難うございました。



甲：甲斐 稔(63回)

乙：谷口 公啓(73回)

J1 初優勝!!

おめでとう、サンフレッチェ広島。

加藤義明(44回)、大橋謙三(44回)、野村尊敬(50回)、小城得達(51回)、榎並 毅(52回)、田中保昭(54回)、吉池文夫(56回)、大辻 明(58回)、白井孝司(59回)、長沼 毅(61回)、古田篤良(61回)、山下勝也(69回)、先本賢司(71回)、谷川秀樹(71回)

いろいろアカシア情報

◆東海アカシア会総会

2月中旬に開催予定です。詳細は下記東海アカシア会事務局へ。

◆53回生

卒業50周年記念合同クラス会

日時：2月28日(木)午後6時～

(二次会は各クラス会)

場所：ホテルセンチュリー21広島

会費：未定

卒業式：3月1日(金)午前10時より母校講堂にての「第103回広島大学附属高等学校卒業式」に参加します。
問合せは幹事：戸野・今西・樋渡・田辺・中西・八木・秋信・野田(八木)・渡辺・渡(大内)・和泉 まで

◆伊賀健一氏(49回)が世界的学術賞の一つである、フランクリン学術賞“2013 The Bower Award(科学部門)”

(フランクリン財団)を「面発光レーザの発案と光エレクトロニクスへの広範な応用への研究」で受賞することが決定しました。授賞式は2013年4月25日(木)に米国フィラデルフィア市で行われます。

11月までに会員のみなさまよりお知らせください。詳細は各学年幹事にお問合せください。「いろいろアカシア情報」では、同期会・出版・その他会員の皆様の情報を掲載させていただきます。ぜひご活用ください。

各地域アカシア会のご案内

地域	会長	事務局	行事予定
東京	的川 泰宣 (50回)	〒105-0013 東京都港区浜松町1-21-5-5F (株)業務プロセス研究所 尾籠裕之(56回) TEL03-6809-2237 Eメール ogomori@bplab.co.jp	総会と懇親会 5月と11月 次回は 5月19日(日)
近畿	堀内 重明 (50回)	〒669-1506 三田市志手原920-47 岡 國太郎(57回) TEL079-564-2414 Eメール okakunichan@nifty.com	総会6月と12月 次回は 6月2日(日)
東海	沖 信一 (55回)	〒442-0884 豊川市光明町2-41-55 佐藤 哲郎(78回) TEL0533-83-0981 (FAX兼用) Eメール tetssato@quartz.ocn.ne.jp	総会と懇親会 2月と9月頃
岡山	大本 榮一 (27回)	〒700-8550 岡山市北区山下1-1-13 (株)大本組内 TEL086-225-5131 大本榮一(27回) Eメール fc-yokote5555@ezweb.ne.jp 横手靖吾(54回)	総会 11月第2土曜日 次回は 11月9日(土)

地域	会長	事務局	行事予定
広島	吉中 康彦 (50回)	〒734-0005 広島市南区翠1-1-1 広島大学附属高等学校内 TEL082-253-5581	例会は毎月17日 (原則として)
九州	伊藤 哲生 (51回)	〒814-0142 福岡市城南区片江1-25-10 サポート一級建築士事務所内 山本哲三(61回) TEL092-863-0151 Eメール syam02038@jcom.home.ne.jp	総会 10月頃
東北	野尻 久 (33回)	〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学学際科学 国際高等研究センター 八百隆文(53回) TEL022-795-4400 Eメール yao@cir.tohoku.ac.jp	未定
呉	大之木 精二 (43回)	〒737-0079 呉市上平原町14-33 殿村 礼子(52回) TEL0823-23-9728	次回は 2月3日(日)

東京アカシア会 平成24年度秋季懇親会

秋気いよいよ深まってきた11月3日(土)、平成24年度秋季懇親会が、例年通り東京都千代田区のスクワール麹町で開催されました。今回は母校から隠善富士夫副校長先生、向井恒雄アカシア会会長(50回)にご来賓としてご出席いただき、29回の大先輩から102回卒業のフレッシュマンまで、総勢128名が集っての開催です。

会の開会に先立ち、29回卒業の大先輩を中心に歓談する場を設け、世代を超えた交流を持つ機会を得た後、定刻通り18時からの開宴となりました。まずはこの半年に亡くなられた22名のご冥福をお祈りし、黙祷を捧げました。続いて、的川泰宣東京アカシア会会長(50回)からのご挨拶、そして来賓の隠善副校長先生、向井アカシア会会長からご挨拶を頂き、出席者最年長の岡添 正氏(29回)のご発声で乾杯。



今回からの新しい試みとして、東京アカシア会におけるグループ活動を紹介します。現在、アカシアサッカーやコールアカシアなど、

興味を同じくする8グループが活動していますが、それぞれポスターを会場内に張り出し、また、壇上に上がって、日頃の活動紹介やメンバー募集など大いに宣伝していただきました。今後、グループの活動がさらに活発になることでしょう。

引き続き、ここ数年、力を入れている就活支援活動(アカシアチャンネル)について福田真氏(55回)からご紹介があり、12月に開催される就職活動中の学生を対象としたイベントの告知がなされました。

また、今回は的川会長が作詞された「未来をのせて～はやぶさの軌跡～」をコールアカシアのみなさんの合唱があり、山口徳花氏(98回)によるチェロの演奏ありで、非常に盛りだくさんの懇親会となりました。

会も終わりに近づき、恒例となったお楽しみ抽選会では、カルビー様、広島カーブ様他、飛び込みで多くの賞品をご提供いただき、多くの出席者に賞品が行き渡りました。この場をもちまして、賞品をご提供いただいた皆様には感謝申し上げます。



盛況であった懇親会もお開きの時間となり、参加者全員が大きな輪になり肩を組んで、コールアカシアの方々を中心に校歌斉唱。そして来年度の年度幹事を担当する82回卒業の5名が来年度に向けての抱負を語り、そして最後には、懇親会恒例の締めのエール。今回は、この為に広島から東京に戻ってきていただいた榎本良二氏(69回)の音頭でエールを会場に響かせ、大盛況のまま閉会となりました。

その後、こちらも恒例となりつつある二次会にも大勢の方が参加され、世代を超えた交流を更に深めることができました。

東京アカシア会では、今後も幅広い世代の参加促進・交流の活性化に向けて活動して行く予定です。来年度の春季懇親会は2013年5月19日の予定です。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

文責：土本康生(81回)
撮影：横田純一(81回)

近畿発

近畿アカシア会後期総会



今年度の後期総会は、来賓としてアカシア会会長の向井恒雄氏(50回)をお迎えし、12月2日(日)に大阪第一ホテルにて開催した。

司会はお馴染み皇暢子氏(46回)にお願いし、堀内重明会長(50回)の開会挨拶につづき、今回の目玉企画である上野徳恵氏(45回)ソプラノミニコンサートに移った。コンサートでは、モーツァルトのモテット「踊れ、喜べ、汝幸いなる魂よ」、プッチーニ作曲のオペラ「トスカ」より「歌に生き、愛に生き」、そしてアンコールでは「蝶々夫人」よ

り「ある晴れた日に」を披露していただき、会場の出席者は魅了された。また2年後はリサイタルを計画されているとのことなので、お楽しみに。

懇親会は最年長の川本和良氏(38回)に乾杯のご発声をいただき始まった。向井会長の来賓挨拶ではサンフレッチェのリーグ優勝という広島県民にとっては最高のニュースに始まり、アカシア110周年記念事業の計画、定例アカシア会開催をギネスに申請するお話もいただいた。

恒例の出席者スピーチからは司会を私川村美貴(97回)が担当し、川本和良氏からは軍都の歴史も持つ平和都市広島に関するお話をいただいた。日下善道氏(45回)からはサッカーで現役時代に二度、卒業後に一度国体に出場した話、川上操氏(57回)のスピーチではサンフレッチェの優勝もあってか、サッ

カーの話題に花が咲いた。そして大上威雄氏(43回)からは1979年、1980年の日本シリーズカープ優勝戦を観戦した話と当日のチケットを保存しているお話をいただき(来年こそはカープも優勝してほしい!!)、井口卓也氏(44回)からは近畿アカシアが今後もっと発展していくようにと、若い世代へのエールもいただいた。初参加の権藤拓樹氏(100回)にはこれから始まる就職活動への不安、そして将来の期待と展望を語っていただいた。

最後は恒例の校歌斉唱、記念撮影を以て、本総会を閉会とした。

* 来年度前期総会予定 *

次回総会は2013年6月2日(日)正午より開催予定です。

12月10日記 川村美貴(97回)

【前出以外の出席者】

(ピアニスト)横山智昭氏、(38)香川昇、(43)黒田昭夫、藤井侃二、宮本真亘、(44)山本瑠子、(46)生塩之敬、見門忠雄、(48)上田靖子、(50)埴本勝司、(57)岡國太郎、森静子、(62)豊島秀郎、(63)勝丸浩之、(64)田頭史明、(96)上田大樹、光廣直史、(101)野中雄太、(102)永井将貴

東海発

東海アカシア会・豊葦会 ビアパーティー



まだまだ暑さが続く9月最後の日曜日、9月30日に恒例の東海アカシア会・豊葦会のビアパーティー「夏バテをぶっ飛ばそう!」を名古屋駅前のレストラン「パストランテ」で開催しました。建替えのため当日が最終営業日となった伝統ある大名古屋ビルヂングの隣です。

この日は何と台風17号が潮岬まで接近中で、午後には東海地区直撃が必至のため、ご来賓として広島からお越し頂く予定の全国アカシア会吉中康磨副会長(50回)、この日を楽しみにしておられた横浜からの齊藤蓼前会長(48回)

など、一部の方は残念ながらご参加を断念されることになりました。しかし、このような状況にも関わらず14名+同伴者1名の皆さんが元気な顔を見せて下さり、この会の絆の強さを感じました。

今回最高齢の吉本幹彦元会長(41回)のご発声で乾杯し、開宴。嵐の中で来客の少ない店内をほぼ独占して、和洋中折衷料理とビールやワインなどを楽しみました。今回の初参加は、四日市在住の黒田直子さん(87回)、前回の総会から参加の大谷幸子さん(87回)の同期です。お嬢さん(怜さん)を同伴していらして皆の微笑みを集めていた水馬裕子さん(85回)を含め、働きながら子育て中の女性の参加が増えていることは、似たような家庭事情の幹事としては嬉しいことです。中村博之(43回)さん、花岡正紀(48回)さんから

は、母校がはじめて共学になったころの思い出や健康のための心がけが、林滋さん(48回)、服部清美さん(72回)からは躍進中のサンフレッチェが語られました。沖信一会長(55回)、坂本利彦監査役(55回)、高岡義文さん(64回)からはオープン直前の東京駅復原工事など仕事の話や近況が、成瀬まり子さん(65回)からは農作業の様子が語られました。今回は、全体一同で会話が成立するぐらい席が近く、附属のこと、広島のこと、仕事のこと、家庭のことなどバラエティに富んだ話を聞いたことが、嵐の日に参加した特権でした。

最後に作曲家の梶幸一朗事務局次長(81回)の指揮で校歌を合唱してお開きとし、台風直撃間近の中、皆さん足早に帰宅されたという、記憶に残る会になりました。

次は、2013年2月に総会を開催しますので、東海地方在住の皆さんは是非ご参加下さい。学生さんは無料です。

9月30日記 佐藤哲郎(78回)

TATESHIBA サンフレッチェ広島 J1優勝おめでとう! 株式会社 立芝

二枚(1/5頁) 月例版3万円 全国版4万円 お問い合わせ・お申し込みは事務局まで

岡山発

岡山アカシア会 第56回総会



11月第2土曜日の11月10日、後楽園を望む岡山プラザホテルにて、第56回岡山アカシア会が開催された。恩師栗園重弘先生、アカシア会会長 向井恒雄氏(50回)を迎え、岡山アカシア会の名物会長 大本榮一氏(27回)を始め、会員24名が集まった。何と言っても岡山アカシア会の最大の特徴は、年齢層の大きさである。今回も、27回生の会長からまだ大学生の101回生まで、

何と75年の長さである。

栗園先生は、副校長などで35年の勤務後、現在はまた非常勤としてお勤めで、授業をすることが楽しくてたまらないとおっしゃっていた。嬉しいことである。理科のご担当で、附属がSSH(Super Science High school)として後輩たちが活躍していることなどをお聞きした。

また、向井会長からは、日本一附属校数が多い広島大学の附属校の今後や、サンフレッチェのことなど、故郷のことをいろいろお聞きし、気を揉んだり期待したり・・・母校の発展を願わない卒業生はいない。どうぞ、広

大附属とアカシア会がますます発展するように、と願ったことであった。

大本会長のお話は、若い後輩である私達に学ぶべきことが多い。今年は、データを調べて来られ、エビデンスに基づいたお話であった。人は一生の間に、一体何人位の人に出会うのだろう。出会うだけなら30,000人、少し親しい付き合いということになると3,000人、親友とも言える人は3~5人だそうである。アカシア会のつながりは、3,000人より少なく3人より多い、大切な人たちである。もうすぐ94歳の大本さんから、健康第一、健康はあらゆる事に通じている、と言われるとさすがに説得力がある。お開きでは、開校記念日の歌、校歌を歌い、長崎堂のバターケーキをお土産に、ほっこりした思いで帰路についた。

2013年の岡山アカシア会は11月9日土曜日、予定表への書き込みを願います。

11月17日記 青木三恵子(61回)

九州発

第9回九州アカシア会総会・懇親会報告



平成24年12月8日(土)午後5時より、福岡市博多区博多駅前ANAクラウンプラザホテルにおいて、第9回九州アカシア会総会が開かれました。

本年度は役員改選の年であり、また来年再来年に向けて九州アカシア会をどういう会にしていくのか、会員の参加率アップと会員相互の交流をどういうビジョンで行うかを考える年になりました。12月という忘年会などが重な

る月だったこともあり、例年の参加者より少ない20名の参加者となりましたが、学生の参加者が6名と若い活気ある総会となりました。

広島アカシア会からは、会長の吉中康磨氏(50回)に来賓として参加いただき、広島アカシア会の様子、母校の様子などを話していただきました。

8年前の平成16年に九州アカシア会が設立されて以来、副会長、会長を務めていただいた八木聖二氏(54回)が、本年度をもって東京への転居にともなって退任されました。新会長には、事務局の伊藤哲生氏(51回)、副会長に

は豊原敏光氏(62回)が承認されました。また新たに役員として河野博之氏(61回)を迎え、来期に向けての新しい体制が整いました。

講演では、鹿島建設工事部部長の松本典之氏(65回)が「ゼネコンって何?」と題して、ゼネコン(総合建設業)についての基礎知識や、ご自身の鹿島建設での仕事のエピソード、また建築業界面白話をわかりやすく解説されました。普段ゼネコンと関わる事のない会員にとって、「ゼネコン」が少し身近になったのではないのでしょうか。

懇親会では、広島アカシア会の吉中会長からお土産で頂いたもみじ饅頭が参加者にふるまわれ、広島時代を懐かしみました。 山本哲三(61回)

【新役員】

会長：伊藤哲生(51回)、副会長：豊原敏光(62回)、事務局長：山本哲三(61回)、幹事：谷正和(66回)、幹事：花栗美百合(55回)、幹事：添田寛子(55回)、幹事：河野博之(61回)、顧問：八木聖二(54回)

アカシア会報に広告を載せませんか?
一枠(1/10頁) 月例版1.5万円 全国版2万円

呉市海事歴史科学館

大和ミュージアム

世界一の戦艦「大和」を生んだ
「呉」の歴史と平和の大切さ、科学技術のすばらしさを未来へ

開館時間／9:00~18:00(展示室入館は17:30まで)
休館日／火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日休館) 12/29~1/3は無休
観覧料／一般500円 高校生300円 小・中学生200円

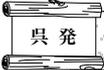
呉市宝町5番20号 ☎0823-25-3017
URL <http://www.yamato-museum.com/>

内科・小児科・循環器科

沢近 医院

院長 沢近紀夫(54回卒)

〒734-0015 広島市南区宇品御幸1丁目17番8号
TEL 082-251-0261



呉アカシア会 総会・第4回例会



瀬戸内の日差しが眩しく猛暑厳しい平成24年8月12日(日) 呉阪急ホテルに於いて、呉市を中心に竹原市、東広島市に加えて広島市からの応援を含めて33名が集まり、今年度総会及び第4回例会を開催しました。総会前に大之木呉アカシア会長(43回)より「孤独死、いじめ、差別等の社会問題がここ数年来増加し、全国的に無縁社会への懸念が拡大している中、アカシアの絆が更に力強くなり発展することが望まれており、そのためには皆様より一層の支援が必要です。」との挨拶があ

り、呉アカシアも一層地域社会との繋がりを太くすることが必要な時だと感じました。引き続き総会では、奥村幹事(49回)より昨年度の事業報告並びに今年度の活動計画について説明後、殿村幹事(52回)より昨年度の会計報告を行いました。また、谷田部監事(65回)より、井門監事(54回)と実施した会計監査結果から適性に処理されていることを報告し満場拍手で承認されました。

懇親会では特別講演として(株)コムタスグループ呉駅前校支所長 横川様(83回)より「わりと気楽な物理のはなし」と題して、楽しい実験を踏まえながら「学習塾での物理・化学を学ぶには？」と一見難しそうなお話を「楽しく面白く身近な現象として子供達が接することができるものだ。」と教えていた

きました。なかでも最近話題となった小惑星探機「はやぶさ」のイトカワ探査微粒子の呉展示が全国に先駆けて一番に行われたことや目の前で生じる物理現象の不思議を身近に見せていただき、とても楽しい時間を過ごせました。乾杯の後、ご多忙中にも関わらずご来場の新広島アカシア会長の吉中会長(50回)より呉アカシア会への暖かい励ましの言葉をいただきました。その後は各テーブルでなごやかな歓談が進み、校歌斉唱、記念撮影そして閉会の運びとなりました。次回は平成25年2月3日(日) 12時～呉阪急ホテルで予定しています。

11月15日記 谷田部広志(65回)

第四回呉アカシア例会出席者：(38)中西巖、(43)大之木精二、後藤吟子、(47)堀川重幸、村尾禮三郎、湯浅純吉、(49)奥村誠哉、竹鶴寿夫、中西登代子、原田瑠美、(50)井藤壯太郎、吉中康磨、(51)近藤邦夫、(52)西田靖、殿村礼子、(54)井門和俊、竹広茂子、(58)本田和徳、(59)渡川恵子、(61)兼森均、(65)谷田部広志、(66)木本芳弘、坪井俊郎、宮加谷靖介、(72)坂田恭一、(75)藤井貴子、(76)橋本耕太郎、(80)武井直宏、堀口悟史、瀧川雅子、(83)横川淳、(88)明神政之、(98)大上真里奈

「アカシア元教官の会」平成24年度(第21回)総会・懇親会



左から
第4列 酒井秀三、菅原敬三、大隈教臣、湯浅清治
第3列 金丸キミエ、紙田巧、山本克子、三宅重徳、大田勝司、田中泉
第2列 片山一法、中本薩雄、多田保行、南村俊夫、有田嘉伸、野中幹夫、笹原豊造、
第1列 三上昭荘、田鍋薫、小山清、永田龍男、野地潤家、岩合一男、三浦省五、太鼓矢晋

本年度の総会・懇親会は、8月27日(月)に中区のメルパルク広島で、26名が参加して開かれました。

総会は、会長の野地潤家先生(校長)の挨拶で始まり、幹事長の小山清先生(国語)により会務報告があり、会計・監査報告について審議が行われまし

た。

議事に続いて、永田龍男先生(英語)に「較べた、蒐めた、撰んだ一広大附属中・高での一五年と辞書改訂作業」と題して、講話をしていただ

きました。永田先生は、附属時代の『英語指導法ハンドブック⑤[英文用例編]』から、このたび完成した『三省堂英語イディオム・句動詞大辞典』まで、参加された辞典の編纂・改訂について具体例を挙げながら、お話し下さいました。簡

潔で狙いが焦点化された用例をたくさん集めることが重要なと、差別語や誤字を除くことに心血を注がれたことがよく分かる講話でした。

懇親会に先立ち、この一年間に亡くなられた田中昭男先生(理科)、長谷川孝士先生(国語)、田村一郎先生(英語)、三木温美先生(数学)をはじめとする物故会員のご冥福を祈って黙祷しました。

懇親会は紙田巧先生(英語)による乾杯で始まり、宴たけなわの中で、久しぶりに参加の大隈教臣先生(英語)と、初参加の湯浅清治先生(社会)にスピーチをお願いしました。湯浅先生は、3月で附属を定年退職されましたが「再任用でまた附属の教壇に立っています」と挨拶されました。

楽しく旧交を温めるひと時となりましたが、岩合一男先生(数学、元校長)の挨拶でお開きとなり、来年の再会を約して別れました。

11月12日記 田中 泉(66回・旧教官)

株式会社 融合事務所

所属俳優



柳葉 敏郎



勝俣 州和

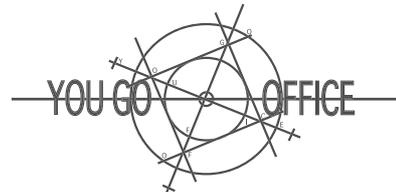


木村 多江



高橋 かおり

代表取締役 宮崎 忠(66回)



<http://www.yougooffice.com/>

職域・クラブだより

中電アカシア会懇親会を開催



10月19日、母校の平松敦史先生を来賓にお招きし、中電アカシア会の懇親会を広島アンデルセン6階デンマークルームにて開催しました。

平松先生には、科学的な知の体系の習得等を通じて持続可能な社会を先導する人材育成を目指したスーパーサイエンスハイスクールについて、課題研究の概要や広島大学研究室での先端研修実習、サイエンスプロジェクトツアーの様子などをご紹介いただきました。

42回卒業の大先輩から96回の新入社員まで27名の皆様に参加いただき、懇親会では、先生や先輩、後輩の間で、母校の思い出話など世代を超えて楽しい会話に花が咲き、あっという間の2時間でした。今年度も、58回熊野義夫会長(中国電力常務取締役)のもと、参加いただいた皆様、開催にご協力いただいた皆様のおかげにより盛会に開催することができました。この場をかりてお礼申し上げます。

11月29日記 谷川精志(73回)

広島市役所アカシア会親睦会

11月1日(木)に広島市文化交流会館で広島市役所アカシア会の親睦会を開催しました。

広島市役所アカシア会は、今年度、新たに新規採用職員3名を迎え、会員数は123名となりました。

業務の都合等による欠席もあり、参加者は33名にとどまりましたが、新規採用職員1名を始め若い世代からも多くの会員が参加しました。

親睦会は、会長の三村義雄氏(62回)の挨拶の後、佐伯克彦氏(61回)の乾杯で始まり、和やかな雰囲気の中、参加者がそれぞれ近況報告などを行うなど充実したものとなりました。

11月2日記 森岡庸介(85回)

日立アカシア会



平成24年7月20日、東京の日立ビルシステム神田クラブにて、第11回日立アカシア会が催されました。本会は日立製作所と関連会社のアカシア会員の集まりです。43回卒の大先輩から平成卒業世代の88回卒までの45名で組織され、毎年東京あるいは茨城県日立市で、懇親を兼ねた情報交換をしています。

今年も52回住川雅晴会長(日立プラントテクノロジー相談役)をはじめ、12名の卒業生が集いました。電力、情報、機械、プラント、インフラなどのさまざま仕事に携わり、日頃は職場で顔を合わせる機会も多くはない面々。しかしアカシアの仲間意識は強く、世代や職場を越えたさまざまな話題に花が咲き、楽しいひとときを過ごしました。

11月17日記 館 隆広(68回)

アカシアサッカー三校OB戦開催



去る11月4日、恒例の三校対抗OBサッカー大会(国泰寺・修道・附属)が中電坂グラウンドで開催されました。OB戦に先立ち、現役同士の親善試合も行い、天然芝のピッチで交流を深めました。OB戦では、49回大島治男先

輩をはじめとする60歳以上の熟練パワー9名に、若手は96回生まで計28名の厚い選手層で臨みました。戦績は対修道0-2、対国泰寺6-5、国泰寺対修道3-3で、修道OBが優勝されました。国泰寺との後半戦は、歴史に残る死闘?の末、51回林道義先輩、54回鈴木正道先輩、61回古田篤良先輩のゴールラッシュで見事な勝利を収めました。また54回横手靖吾先輩の闘志溢れるゴールセーブにもスタンドから何度も歓声があがりました。

夜の部の表彰式・懇親会では19人(三校計49名)の参加で世代を超えた楽しい交流となり、43回吉田文次郎先輩の中締めご挨拶で和気あいの宴も終了しました。

11月4日記 先本 賢司(71回)

アカシア・ベースボール・クラブ 夏季集会



2012年8月14日のOB戦は、あいにくの雨により久しぶりの中止となりました。それでも集まった卒業生は、記念写真を撮りアカシア会館にて近況報告などを行い、楽しいひとときを過ごしました。野球班OB会(アカシア・ベースボール・クラブ=ABC)は、毎年8月14日12:00~OB戦、毎年1月3日18:30~総会を永久固定日程で開催しております。是非ともご参加ください。尚、現役情報やOB会情報などを<http://baseball.acacia100.net/>にて発信しております。

ABC幹事長: 谷口公啓(73回)

アカシアバレークラブ

11月24日(土)にANAクラウンプラザホテル広島にて、「広大附属バレーOB・OG会」を開催致しました。一昨年復活したこの会に、中本薩雄先



ヒトにうれしいコト。

これまで、みなさまに「おいしさ」で「うれしい」をお届けしてきた私たち、カルビー。でも、「ヒトにうれしいコト」は「おいしさ」だけではありません。「美しい音色を聴いて、心が潤う」ことも、「素晴らしい絵画を見て、心が動かされる」ことも、私たちの暮らしになくてはならないこと。これからも「ヒトにうれしいコト」を、カルビーから。

掘りだそう、自然の力。

Calbee



生、片山一法先生、笹原豊造先生をお招きして、39回から96回までのバレー班卒業生49名が集まりました。世話人代表の陰山秀明氏(63回)の挨拶の後、恩師の先生方にお言葉をいただき、バレー班創設時の田中清司氏(39回)の乾杯のご発声で幕を開けました。

今回は中本先生とOBOG提供の写真をスクリーンに映し出して、昭和23年バレー班発足時から現在まで、若かりし頃の写真に歓声をあげて、附属でバレーボールを追いかけた思い出を共有する仲間のエピソードを披露しあい大盛況でした。さらに平成24年現役の高校総体予選の崇徳戦のビデオを鑑賞した後、鶴野政人氏(56回)の挨拶で中本先生がとても楽しみにされているこの会の次回の開催を期して散会しました。 12月2日記 寄田誠司(70回)

アマチュア無線班OB会開催



JA4YBRアカシアハムクラブは、日本アマチュア無線連盟主催のFDコンテスト(8月4日~5日)への参加を兼ねてOB会を開催しました。

今年は残念ながら「野呂山ロッジ」が満室で、庄原市「吾妻山ロッジ」の貸切コテージを2棟予約。県内OBに関西方面からの4名を加えた61~74回計8名が集い、旧交を温めました。

土曜午後から、周辺の本立を利用したアンテナ設営、室内での無線機や

パソコンの設定を行い、夕食前に本館浴場でリフレッシュ。地産地消の「比和の晩ごはん」も美味でした。

競技会としては電波状態がいま一つでスコアが伸び悩みましたが、逆に皆がのんびりと歓談でき、アルコール消費量の増加に比例してOB会としては大成功です。設備撤収後は次回の再会を約束して解散となりました。

2013年はFD参加50回目の節目となります。顧問の松井坦先生をはじめ、多くのメンバーで盛り上がりましょう。 12月5日記 手島由裕(74回)

アカシアオーケストラ東京の集い



今や一大クラブの管弦楽班は、毎年多くの卒業生を輩出するも、その後卒業生同士で演奏する機会は極稀。それでは勿体ないと2008年4月5日、東京で木管五重奏団結成。月に1・2回、楽譜サイトからダウンロードした色々な曲を初見同然で吹き散らかした後、まったり茶菓。母校定演のロビーコンサートや近所の夏祭りのステージにも出演。2012年5月20日、3年後に迫った110周年記念企画に向けて卒業生同士の交流を深め盛り上げていこうと、管弦楽班卒業生に声掛けを拡大。これまでの参加者は96回から73回まで最多で10人。

毎月概ね第3日曜午後、江東区豊洲付近で活動。少人数でも室内楽曲だけでなく管弦楽曲にも果敢(無謀?)に挑戦。今後、様々なメンバーの室内楽団を自在に編成、時にはオーケストラもできる緩やかな集団になればと思っています。ただ同窓生と雑談したい人も大歓迎!参加ご希望の方はs-nambu@nifty.ne.jpまでご連絡下さい。

11月27日記 南部世紀夫(73回)

同期会だより

米寿に集う34回生



我々34回生、太平洋戦争さ中の昭和18年アカシアの園を後にし、爾来既に70星霜。本年、長寿の節目米寿を迎え、23回目の同期会を10月3日東京にて開催。参加者は7名。上京組の到着を待って、早速新名所のスカイツリーに登攀。遠く関八州を一望に収めつつ、今や世界一の高峰を誇るこの電波塔(634m)の迫力を体感。夜は学士会館にて申山正君の司会により懇親。今はすべてが懐かしく思い出されるばかりの附中生活あれこれの懐旧談に花を咲かせる。一旦、為廣正起君の閉会の辞でお開きになるも、一同更なる語り合いを求めまたロビーに相集い、それぞれの来し人生模様を、夜の更けるのも覚えずつとめどなく語り合う。

当夜は同会館に投宿。翌朝、装い新たにデビューした東京駅丸の内口新駅舎を鑑賞、その格調高き典雅な造形美に思わず目を細める。やがて、お別れの時間。一同名残りを惜しみつつ、生ある限りまた再会せんと、固く握手を交わして解散した。 永山吉則

傘寿アカシアが味わった「紅葉狩り」の醍醐味



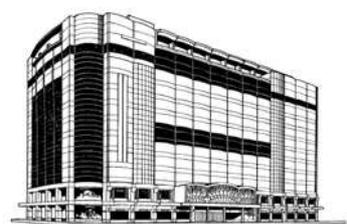
爽秋の10月27日、「燃える紅葉!広島3名峽めぐり」の日帰りバスツアー



福屋八丁堀本店

Faithful & Friendly
皆様の百貨店、Fukuya。

Fukuya



福屋広島駅前店

を、春と同じく傘寿の41回生6人組が満喫した。

まずは県北、帝釈峡～絹雲が尾を引く青空のもと到着したのは燃えるが如き紅葉の神龍湖なのに、意外や観光客は外数人のみ。我等を含むツアー御一行様45人が湖畔一周に歩み出たトタン、出会ったのが真っ赤に塗装された鉄橋。刻まれた名盤文字は「昭和3年」。大先輩であった(写真)。

残念ながら快晴はここまで。走り出したバスが三段峡に近づくや大粒の雨。ご承知、ゴツゴツ岩場の崖道に踏み出した6人組は、かくてチリジリバラバラ～「落ちたらワシ等じゃ死ぬぞ」～激流の峡谷を見下ろしながら先頭グループを探すうち時間切れ。最終目的地たる滝山峡は「着いた～眺めた～帰ろう」。帰着した広島は見事な夕景だった。 新井俊一郎

47回生 室積一泊同期会



人生の節目の古希は過ぎたが喜寿には少し間がある。今年卒業55周年にあたるのを記念して同期会を開くことになったが、行き先の選定に迷った。「そうだ！高校一年の夏、臨海学校のあった室積へ行こう。」

宿泊した室積小学校は、現在は公園となっていたが、白砂青松の続く海岸は昔のままの美しい海だった。今回の思い出探しの同期会は10月24日「かんぽの宿 光」に決まった。参加者は45名、恩師の三上昭荘先生に出席していただき、宿の気配りと感じの良い接待と新鮮な魚料理を味わいながら思い出話で盛り上がった。遠泳の4kmでやめた人、8kmを泳ぎきった人、気分が悪くなった男子に女子が泣きながら励ましたという逸話も披露された。

翌日は室積の町を散策し「郷土館」に立ち寄ってそこで見たものは「広島大学付属中学校高等学校臨海教育宿舎」の大きな木の看板だった。我々の青春の足跡を大切に保存してくれた町の人の温かさにふれて、天候にも恵まれて、仲間の元気を確認して同期会は無事終了した。 F井I子

48回生平成24年度東京同期会



11月26日午後6時から銀座1丁目の広島ブランドショップ「TAU」地下1階にある「遠音近音」で今年の東京同期会が開催されました。毎年末富武君と松島和夫君のお世話で開催されていますが、今回は男性17名女性10名、計27名という盛大な会となりました。乾杯に続いて平本修君から10月29日に白血病で亡くなられた渡辺慧子さんの状況報告があり、続いて出席者全員が一人ずつ近況報告をして2時間半があったという間に過ぎてしまいました。今年卒業55周年という節目になるので、ぜひ全国規模で同期会を、と話し再会を約束しました。 中田研一

49回同期会



49回は11月に一泊二日で同期会を開催。11日午後には宿泊・宴会場の竹原市賀茂川荘に集合後、幹事役竹鶴寿夫君の案内で竹原市今井政之美術館や竹原市内を散策。

宴会には50名が参加。冒頭のサプライズは伊賀健一元東工大学長のフランクリン賞受賞の発表。急遽全員カンパ

で今井政之氏の焼物を贈呈(同賞はノーベル賞並みの大変な賞だそうです)。

宴会は地元竹鶴酒造の持込み銘酒で大いに盛り上がり、二次会のカラオケへと流れ、深夜に温泉に浸って散会。

翌日は三次奥田元宋美術館～ワイナリー組とゴルフ組に分かれて紅葉を愛でた。ゴルフは白西紳一郎君が優勝。

土井田 泰

50回3組クラス会



10月30～31日、第50回(S35)3組のクラス会を箱根で行った。東京、神奈川、滋賀、広島から15名の参加、2年に一度のイベントを楽しんだ。このクラスはアカシア会会長の向井恒雄君他多士済々、高校時代の思い出話から古希に至るまで話題は尽きないが、最大の関心事は「ボケとピンコロ」だったようだ。翌日は天気も良く仙石原のススキが見頃で爽快、老舗の富士屋ホテルで伝統のカレーを味わい、1泊2日の旅を終えた。 榎本航二

アカシア54回生同期会



開催日時：2012年6月30日16時～
場所：ホテルグランヴィア広島
参加人員：67名

再来年で卒業50周年を迎えるが、還暦記念同期会後は同期会を開催しておらず、幹事として重い腰を上げることとなった。70～80名の参加を期待したが、体調不良の方や当日都合の悪い方



中国電力
アカシア会

中国電力は、「安全に安心して電気を利用できる」という皆さまのご期待にお応えすることこそが使命であると考え、安定した電力供給、環境への配慮、経営の効率化推進による低廉な電気料金の実現を目指し、これらの取組みを通じて、地域の持続的な発展に貢献していきます。

熊野義夫(58回卒)他、会員一同

74回生学年会のお知らせ

卒業30周年を記念して、学年会を企画しています。まだ1年以上先のことですが、是非予定を調整してご参加ください。たくさんの懐かしい顔に会えることを楽しみにしています。

と き：2014年(平成26年)7月19日・20日

と ころ：湯来ロッジ(廿日市市)

*詳細は改めてお知らせします

74回学年会幹事一同

が出るなどして目標(幹事の勝手な目標)をショート。同期の林茂樹ドクターの講演「60代からの健康管理」、同じく藤井(橋本)寿江講師に依るフラダンス講習などを取り入れ、時が経つのを忘れる3時間+二次会だった。翌日は希望者により広島CC西条でゴルフ。再来年の卒業50周年は少し規模を大きくして実施する予定。その翌年は、学校の創立110周年記念事業もあり、何かと気忙しくなりそう…今から楽しみ!

7月11日記 鈴木正道

61回還暦同窓会



大学紛争の大波が寄せて引いていく1970年を挟む時期に、私たちは高校時代を過ごした。そこからそれぞれの道を行き、還暦を前後して10月7日日曜、くら家たかの橋店に75名が集まった。在広の諸氏の手配よろしきを得て、サッカー班橋本和明君のホイッスル司会のもと、楽しい4時間を過ごした。山本幸子さん計らいの、中国新聞号外の発行。鈴木祥子さんの厚意による房州での二次会では、ご子息の手になるケーキに歓声が上がった。同窓会はまめで、これが8度目の参集となる。回を重ねるごとに、聞くこと、とりわけ、付き合いの薄かった連中からその後の歩みを聞くことが楽しくなった。積み重ねたキャリアがあり、病や介護という抜き差しならない現実がある。たまたま3年間学び舎を同じうしたことが、話す気持ち、聞く姿勢の根を育んでくれていることを、不思議とも思い、感謝したくもなかった一日だった。

11月18日記 富田倫生

アカシア68回同期会in東京2012



平成24年9月15日、2年ぶりの68回学年同期会が東京・銀座で開催され、松井坦先生(4組担任)をはじめ35名が参集した。

「バック・トゥ・ザ'70s~あの頃の君にもう一度」をテーマに、アイデアあふれる幹事長、河本上総さんの発案によるチーム対抗クイズ大会を実施。「(卒業アルバム)のこの男性は誰?」、「事前アンケート『高校で苦手だったこと』で多かった回答は?」、「ワシらが高Ⅲの体育祭は、何対何でどちらの勝ち?」などの難問奇問をスクリーンに投影して挑戦。賞品は、附属の売店で購入した文具だった。懐かしい70年代ポップスをBGMに談笑し、二次会も盛況だった。

同期生40名以上参加の、インターネットサービス「フェイスブック」68回生サイト“AKB68”を連絡にフル活用し、各地の同期生の協力も得て実現した楽しい会だった。

11月18日記 館 隆広

72回卒業30周年同期会報告



7月15日に7年ぶりとなる72回の同期会を担任の片山一法、宇佐川信行、伊東治己、掘泰樹の各先生方をお迎えして広島駅北口にある「SUZU CAFÉ Hiroshima」で開催し、同期77名が集まりました。

メインの同期会は、16時から一次会を4時間貸切りの会場で行った後にホ

テルグランヴィアのラウンジに移動し、久しぶりに会う同期と夜遅くまで語り合いました。また、今回はフェイスブックを利用し、当日の様子を動画でネット中継も行いました。

3連休での開催のため、どうせやるのならと、前日夜は広島ビッグアーチでサンフレッチェ広島を応援して祝勝会(今シーズンの初首位に)。当日午前中は母校の協力を得て、テニス、ピアノコンサート、校内散策。翌日夜はマツダスタジアムでカーブ応援(これも勝利)。これらは、同期以外のアカシアメンバーにも参加してもらい、ハードで充実した夏の3日間となりました。11月10日記 砂古(小笹)伸二

80回同期会



「吾、四十にして惑わず」と孔子は『論語』に記した。日本では古くから「初老」と四十を称した。昨年度ついに四十の大台に乗った我ら80回は、久しぶりに広島市内で一堂に会した。

80回は、昨年度に東京アカシアの幹事を、今年度に広島アカシアの下学年幹事を担当している。そのため同期で連絡を緊密に取り合う機会が増えた。そこで導入されたのがFacebookを通じた交流の場である。一昨年末に広島で忘年会をしようと呼びかけたところ世界各地から帰省した人を含め16人が集った。満を持して昨夏8月17日に広島アカシア会の月例懇談会に集合してもらい、例会後に同期会を開いたところ総勢30人が集った。

卒業して以来の再会もあれば、今さらながら初めましてと話をする人もいた。アカシア会報に同封している月刊80回「広島だより」で楽しい雰囲気や伝えた甲斐もあって皆が笑顔になれる楽しいひと時を持てた。加用雅信

2013年版会員名簿 広告主一覧(106件)

【同期会】アカシア41期会、46回卒業生有志一同、アカシア49回同期会、アカシア56回同期会、59回卒業生、アカシア62回、62回三金会、アカシア65回、75回有志一同、
 【職域アカシア】中電工アカシア会、中国電力アカシア会、マツダアカシア会、県庁アカシア会、市役所アカシア会、
 【クラブアカシア】アカシア仙人ゴルフ会、広島大学附属高等学校野球班OB会、アカシアサッカークラブ、
 【企業・個人(卒業回順)】(株)大本社、長沼商事(株)、千田興産(株)、(株)大之木ダイモ、島外科内科、賀茂鶴酒造(株)、医療法人岩国病院、五洋建設(株)、医療法人社団日域医院、キョーリツ(株)、(株)大方工業所、医療法人ヒノ井医院、萬国製針(株)、日の丸産業(株)、メガネの田中チェーン(株)、井藤壮太郎、特別養護老人ホームたちばな苑、(株)立芝、公益財団法人広島県サッカー協会、医療法人社団博愛会、(株)紀陽、(株)合人社計画研究所、堀江会計事務所、フォンテ広島(株)、(株)さくら保険企画、新中央工業(株)、馬場則行、広島運輸(株)、大和重工(株)、医療法人社団桃李会平和の里、(株)ダイナミクス、慶友整形外科、医療法人翠和会養神館病院、医療法人わかば会岩本内科医院、東洋紙業高速印刷(株)、(株)シティガス広島、しみず眼科医院、(株)中国新聞社、(株)敬愛ファーマシー、医療法人社団わかば町クリニック、井藤矯正歯科、吉元徹也、マルニヤ(株)、肥後医院、(南)丸益西村屋、細川・内藤医院、(株)天鳥、ひろしま交流協同組合、産婦人科長尾クリニック、(株)みづま工房、(株)いまだ、(株)広島東洋カーブ、(株)感性舎、医療法人社団曙会佐々木外科病院、松本峰人、(株)ユニバーサルポスト、延近正章公認会計士事務所、(株)シンコー、医療法人社団祐和会大石クリニック、(株)アルツト、(株)山縣本店、(株)マツナ、ニットハウス(株)、つばめ交通(株)、医療法人社団楓会林病院、(株)融合事務所、折口内科医院、シンセイ(株)、医療法人わかみやメンタルクリニック、(株)ベーシック、むぎ耳鼻咽喉科医院、D.P.C.第一入力センター、熊野税理士事務所、畑野樹税理士事務所、カルビー(株)、(株)部谷工務店、医療法人隣田耳鼻咽喉科医院、広交グループ協同組合、(株)広重カーブス事業部、クリエイトコミュニケーション、すずき歯科小児歯科、医療法人浅田レディースクリニック、備北ななつか病院、(株)福屋、堀口海運(株)、(株)千葉物流倉庫、(株)鳥屋、エス(株)、(株)たきのほり不動産

ご協賛ありがとうございます。

松田 亮(88回)さんからのご紹介



自己紹介と、次号登場される方をご紹介します。
①永江 亘(90回)
②石川県金沢市
③金沢大学人間社会環境研究科で、法律(商法・会社法)担当の教員をしております。赴任して一年半が経ちました
④いつもブレイクスルーな回答を出してくれ、大親友であり、いつまでも自分の中のスーパースターである彼です(笑)

出てもうってま
ええかいのま

会員リレー紹介 70

自己紹介と、次号登場される方をご紹介します。
①お名前と卒業回数
②お住まい
③お仕事、自己紹介、母校の思い出
④次号登場の方との関係

北本木綿子(74回)さんからのご紹介



学ではジャズ研でベースを弾き、広大医学部を卒業、病院勤務は愛媛県、岡山県、広島県内数カ所、今は広島市西区で眼科を開業していますが仕事でも遊びでもよくアカシア生に出会い、助けられています。
④応援団所属で多方面に活躍、才色兼備、文武両道OKのパワフルな後輩です。

- ①平野 直彦(71回)
②広島市西区
③高校では軽音楽班所属、卒業時はニセアカシア賞受賞が最大の思い出です。大

ビバ!アカシアカップル34



夫: 上垣内 茂樹(66回)
妻: 上垣内 伸子(66回)旧姓: 岩田
1983年4月結婚(29年目)
馴れ初め: 高校1年の秋に私(茂樹)がデートに誘いました。私にとっては生まれて初めての1対1のデートでしたが、妻にとっては…。リバイバル上映の「小さな恋のメロディ」を見に行きました。また、我々は同じ康午中学からの高入生、大学時代も同じ洋弓部。アカシアカップルで思うこと: 人生の8割近く、同じ空間や知人を共有しているというのはいいもの。結婚式から毎日が同窓会状態。本当の同窓会では夫婦喧嘩の相談に皆を巻き込んだり…。夫から一言: 皆の前で公言するのはちょっと…。(笑)。妻から一言: 同級生ですから家事は当然fifty・fifty。相方出張中の辛いこと。

アカシアライブラリー

寄贈資料の紹介

(2012年8月~12月)

(敬称略・受付順) 太字は寄贈者

資料のご提供ありがとうございます。美奈杜しづか(室塚あや子・60回)著「新・義経と呼ばれた女」

(60)室塚あや子

冊子「アカシア会52回生卒業50周年記念同期会5組ミニ掲示板」

(52)田中秀利

記録CD「アカシア会52回生卒業50周年記念同期会」

(41)中村 玄

アカシア元教官の会編「アカシア元教官の会二十二年」(旧教官)小山 清



「元教官の会二十二年」をご希望の方に差し上げています。アカシア会事務局までご連絡ください。

事務局だより

◆運営会費納入のお願い

入会(卒業)後30年を経過した会員には運営会費納入をお願いしております。未納の方には、運営会費1万円の振込用紙を同封しておりますのでご協力をお願いいたします。

◆有田正志先生が定年退官

有田正志先生 [理科・昭和53年着任] が3月に定年を迎えられます。

◆7月・1月の全国版会報発送は、月例会下幹事80回をはじめ、上幹事の74回や81回の皆様にお手伝いいただきました。ご協力に感謝します。

◆アカシア会会員数(1~102回)

(2012年11月30日現在・単位:人)

Table with 4 columns: 会員数, 人数, 男性, 女性. Rows include 現存者, 不明, 物故者.

報 告

(2012年7月以降判明)

Table of members with columns: 旧教員, 氏名, 判明日.

Table of members with columns: 卒年, 氏名, 判明日.

Table of members with columns: 卒年, 氏名, 判明日.

謹んでご冥福をお祈りいたします。

12月例会レポート

開会あいさつ

吉中康麿広島アカシア会会長(50回)

11月の例会は初めての宮島(海外?)での開催でした。昔は宮島で開校記念日をやっていたことを思い出しました。たまには外で例会を開催するのもよいと改めて感じました。

今月は年末で会も重なるためか参加者が少なめですが、すばらしい曲を聞きながら一年のいい締めくくりになればと思います。

ミニコンサート～ピアノ演奏～

エリザベト音楽大学特別奨学生
高上恵里花氏(102回)



プロフィール

4歳よりピアノを始める。2012年3月広大附属高校卒業、現在エリザベト音楽大学特別奨学生。広大附属中・高在学中アカシア賞受賞、広島フェニックス賞受賞、他表彰歴多数。

このような素晴らしい会で演奏できる機会をいただけて、感謝しています、とのあいさつの後、曲についての簡単な解説と聴きどころや楽しみ方の紹介も交えながら3曲を演奏していただきました。

一演奏曲目

ショパン：エチュード「黒鍵」

ショパン：ポロネーズ第7番「幻想」

ドビュッシー：前奏曲集より「花火」

参加者の心に響き渡る素敵な演奏でした。

乾杯の挨拶 奥村誠哉氏(49回)

昨日の衆議院選挙で、同窓生である寺田稔氏(66回)が広島5区で当選。中央でも大活躍すると思います。みなさんも負けないように、そしてアカシア会が全国にはばたくように。



ビンゴゲーム

年末恒例のビンゴ大会が開催されました。上位当選者は以下のとおり(敬称略)です。

- (1回目) 1・2位：(63)甲斐 稔、(49)倉本戴壽 ウォーターサーバー、3位：(81)下山武志 前田健太投手サインボール (2回目) 1位：(44)山本正一 図書券、2位：(57)天島純子 電気カーペット、3位：(71)鳥井原裕子 赤い野菜詰合せ



その他、自転車やりんご、じゃがいもなどもあり、参加者全員に賞品が当たりました。たくさんの方に賞品提供のご協力をいただき感謝いたします。最後は校歌斉唱で今年の締めくくりとなりました。2013年もアカシアのパワーを広島より全国に向けて発信していきます。 岩田恵一(80回)

12月例会出席者(敬称略54名)

- (41)菊地日朗、(43)後藤吟子、(44)山本正一、(49)奥村誠哉、川瀬博之、倉本戴壽、(50)井藤壯太郎、小川玲子、鈴木 清、田辺宏子、吉中康麿、(51)上土康弘、(53)馬場則行、山手慈正、(55)樋渡美和子、(57)神鳥京子、佐々木隆雄、天島純子、(59)三好 新、(63)甲斐 稔、(65)谷田部広志、(67)高橋裕子、竹爪真弓、(71)河合利美、高上尚美、鳥井原裕子、(72)吉本小美、(74)大田陽子、加藤典子、北本木綿子、鈴木隆子、曾我清子、手島香苗、手島由裕、(80)岩田恵一、大上はるみ、加用雅信、泰田佳七子、成末孝明、堀口悟史、村上尚子、山本恵理子、(81)下山武志、富田秀隆、森 健次、好永裕一、(84)神鳥 静、(85)栗栖史匡、(86)藤田英子、(87)中道加奈子、(88)野口知子、(98)菊本 舞、増田沙季、(102)高上恵里花

会報編集委員会報告

2012年9月1日(土)平成24年度下期会報編集委員会を開催、ゲストの事務局長 甲斐稔氏(63回)、委員7名で



活発な議論がなされました。上期の反省と下期の編集計画の立案が主な内容でした。新しい試みとして時代毎の体育祭の様子の掲載を検討、会員の皆様からご投稿をいただければと存じます。

今後もさらに紙面を充実させるよう努力いたします。是非、年10回の月例版をご購読いただくようお願いいたします。

写真後列左より、吉野かおり(79回)、森川真吾(79回)、佐々木隆雄(57回)、三隅俊行(66回)。前列左より、大田陽子(74回)、中本泰弘(65回)、甲斐 稔(63回)、岩崎純子(69回)

実は会報は毎月発行しているんです!!

1月と7月発行の全国版会報は全会員の皆様にお送りしていますが、それ以外の月にも月例版会報を発行しています。年間購読料2,000円をお支払いくだされば、1月と7月を除く月にも会報をお届けします。購読のお申込みは、アカシア会ホームページ <http://www.acacia100.net/> から、または、お電話(082-253-5581)、Eメール akashia@fuhs.hiroshima-u.ac.jp にてお願いします。(お申込みいただいた方にはバックナンバーをお送りします。)

平成24年1月号から12月号までにご登壇いただいた方々です。

浩然の気

畦森宣信先生、岡野賢吾先生、田鍋 薫先生、三野榮治先生、多田保行先生

出てもらうてもええかいのお

- 古田 晃(48)→片山素子(51)→力田高德(87)→田辺真奈美(87)→松本富夫(81)→越智ようこ(70)→吉野弘志(63)→廣木右子(77)→松本峰人(60)→内藤幸子(57)→下垣浩一(70)→北本木綿子(74)→栗原順子(82)→高畑年伸(80)→谷口晋也(80)→津脇めぐみ(86)→吉山裕貴(90)→戸川雄介(90)→和田佳江(87)→佐渡哲洋(93)→川上英里(86)→河内紀和(82)→田中靖子(91)→松田 亮(88)

ピバ!アカシアカップル

- 槍井孝夫(72)・純江(72)→上田禎俊(54)・和子(54)→国光義浩(69)・いく子(70)→池迫成志(55)・正子(58)→畠川康夫(72)・美悠紀(72)→後藤 新(69)・美佳(69)→神徳徹雄(72)・敦子(72)→南部世紀夫(73)・山崎彰子(77)→鐘江信行(67)・実代(67) (敬称略)

飲酒は20歳を過ぎてから。

常に品質最高を心がける

本社・醸造蔵 / 〒739-0011 広島県東広島市西条本町4-31
TEL(082) 422-2121
東京支社 / 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸屋町1-12-9
TEL(03) 3668-4111

賀茂鶴酒造株式会社

石井泰行(43)



この一杯は 豊饒の海
君がいて 宇宙が歌って
果てもなく 夢かりたてる
飲びの歌 辛きその日も